

指定管理者制度活用事業 評価シート

1. 基本事項

施設名称	川崎市市民ミュージアム	評価対象年度	令和3年度
事業者名	アクティオ・東急コミュニティー共同事業体 代表者 アクティオ株式会社 代表取締役社長 淡野 文孝 東京都目黒区東山1-5-4 KDX中目黒ビル6階 構成員 株式会社東急コミュニティー 代表取締役社長 雑賀 克英 東京都世田谷区用賀4-10-1	評価者	市民文化振興室長
指定期間	平成29年4月1日～令和4年3月31日	所管課	市民文化局川崎市市民ミュージアム

2. 事業実績

○前年と同様の取組 ●新規または前年から変更した取組

利用実績	<p>&lt;補足事項&gt; 市民ミュージアムの被災について 令和元年東日本台風により地階が浸水し、施設及び収蔵品に甚大な被害が発生した。これに伴い、市と指定管理者間において「川崎市市民ミュージアムの管理運営に関する基本協定書に係る覚書」及び「川崎市市民ミュージアムの管理運営に関する基本協定書に係る変更覚書」を締結し、「川崎市市民ミュージアムの管理運営に関する基本協定書」に掲げる指定管理業務のうち、実施が困難なものについては、業務の全部又は一部を免除し、収蔵品レスキューを最優先で取組むこととした。令和3年度は昨年度に引き続き、被災対応として被災収蔵品のレスキュー活動を進めながら、他館を活用した展覧会の実施やアウトリーチによる教育普及活動など、通常の博物館活動も可能な範囲で実施した。</p>																																																																																																																																																																													
	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>令和3年度</th> <th>令和2年度</th> <th>令和元年度</th> <th>平成30年度</th> <th>平成29年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td><b>【総利用者数】</b></td> <td>15,898人</td> <td>5,298人</td> <td>177,284人</td> <td>302,999人</td> <td>282,211人</td> </tr> <tr> <td>(1) 常設展示</td> <td>0人</td> <td>0人</td> <td>54,025人</td> <td>127,837人</td> <td>123,249人</td> </tr> <tr> <td>(2) 企画展示 有料</td> <td>0人</td> <td>0人</td> <td>35,781人</td> <td>38,635人</td> <td>49,219人</td> </tr> <tr> <td>無料</td> <td>0人</td> <td>0人</td> <td>61,316人</td> <td>89,243人</td> <td>66,479人</td> </tr> <tr> <td>(3) 映像展示 有料</td> <td>0人</td> <td>0人</td> <td>3,196人</td> <td>7,482人</td> <td>8,909人</td> </tr> <tr> <td>無料</td> <td>0人</td> <td>0人</td> <td>1,922人</td> <td>5,054人</td> <td>4,604人</td> </tr> <tr> <td>(4) ミネラル</td> <td>0人</td> <td>0人</td> <td>725人</td> <td>876人</td> <td>1,255人</td> </tr> <tr> <td>(5) 館内イベント・講座等</td> <td>109人</td> <td>0人</td> <td>4,726人</td> <td>14,593人</td> <td>12,971人</td> </tr> <tr> <td>(6) ミュージアムツアー(映像)</td> <td>0人</td> <td>0人</td> <td>1,437人</td> <td>2,802人</td> <td>3,597人</td> </tr> <tr> <td>(7) ミュージアムツアー(図書)</td> <td>0人</td> <td>0人</td> <td>10,104人</td> <td>10,748人</td> <td>7,693人</td> </tr> <tr> <td>(8) ミュージアムツアー(閲覧)</td> <td>0人</td> <td>0人</td> <td>19人</td> <td>32人</td> <td>27人</td> </tr> <tr> <td>(9) 研修室等利用者</td> <td>0人</td> <td>0人</td> <td>605人</td> <td>1,038人</td> <td>1,062人</td> </tr> <tr> <td>(10) ミュージアムツアー-1</td> <td>0人</td> <td>0人</td> <td>0人</td> <td>3,179人</td> <td>2,083人</td> </tr> <tr> <td>(11) ミュージアムツアー-2</td> <td>0人</td> <td>0人</td> <td>0人</td> <td>44人</td> <td>0人</td> </tr> <tr> <td>(12) 館外展示・出張プログラム等</td> <td>15,789人</td> <td>5,298人</td> <td>3,428人</td> <td>1,436人</td> <td>1,063人</td> </tr> </tbody> </table> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>令和3年度</th> <th>令和2年度</th> <th>令和元年度</th> <th>平成30年度</th> <th>平成29年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td><b>【企画展示】</b></td> <td>4事業 10,044人</td> <td>1事業 5,398人</td> <td>10事業 96,083人</td> <td>21事業 133,315人</td> <td>18事業 115,698人</td> </tr> <tr> <td>企画展</td> <td>4事業 10,044人</td> <td>-</td> <td>8事業 93,616人</td> <td>17事業 127,878人</td> <td>15事業 110,100人</td> </tr> <tr> <td>他団体の展示等</td> <td>-</td> <td>1事業 5,398人</td> <td>2事業 2,467人</td> <td>4事業 5,437人</td> <td>3事業 5,598人</td> </tr> </tbody> </table> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>令和3年度</th> <th>令和2年度</th> <th>令和元年度</th> <th>平成30年度</th> <th>平成29年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td><b>【かわさき市美術展の応募数】</b></td> <td>6部門 315点</td> <td>6部門 373点</td> <td>6部門 315点</td> <td>6部門 231点</td> <td>6部門 266点</td> </tr> </tbody> </table> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>令和3年度</th> <th>令和2年度</th> <th>令和元年度</th> <th>平成30年度</th> <th>平成29年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td><b>【映画上映】</b></td> <td>1事業 155人</td> <td>-</td> <td>8事業 3,941人</td> <td>16事業 9,243人</td> <td>15事業 11,136人</td> </tr> <tr> <td>上映数・作品数</td> <td>1回 2作品</td> <td>-</td> <td>92回 77作品</td> <td>173回 83作品</td> <td>174回 96作品</td> </tr> </tbody> </table> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>令和3年度</th> <th>令和2年度</th> <th>令和元年度</th> <th>平成30年度</th> <th>平成29年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td><b>【教育普及事業】</b></td> <td>25講座 191回 13,901人</td> <td>12講座 72回 7,331人</td> <td>64講座 218回 21,680人</td> <td>81講座 277回 11,320人</td> <td>76講座 254回 10,143人</td> </tr> <tr> <td>社会科教育推進事業</td> <td>126校(13,593人)</td> <td>64校(7,292人)</td> <td>47校(4,781人)</td> <td>85校(9,390人)</td> <td>88校</td> </tr> <tr> <td>ボランティア登録者数</td> <td>61名</td> <td>12名</td> <td>49名</td> <td>49名</td> <td>43名</td> </tr> </tbody> </table>		令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度	<b>【総利用者数】</b>	15,898人	5,298人	177,284人	302,999人	282,211人	(1) 常設展示	0人	0人	54,025人	127,837人	123,249人	(2) 企画展示 有料	0人	0人	35,781人	38,635人	49,219人	無料	0人	0人	61,316人	89,243人	66,479人	(3) 映像展示 有料	0人	0人	3,196人	7,482人	8,909人	無料	0人	0人	1,922人	5,054人	4,604人	(4) ミネラル	0人	0人	725人	876人	1,255人	(5) 館内イベント・講座等	109人	0人	4,726人	14,593人	12,971人	(6) ミュージアムツアー(映像)	0人	0人	1,437人	2,802人	3,597人	(7) ミュージアムツアー(図書)	0人	0人	10,104人	10,748人	7,693人	(8) ミュージアムツアー(閲覧)	0人	0人	19人	32人	27人	(9) 研修室等利用者	0人	0人	605人	1,038人	1,062人	(10) ミュージアムツアー-1	0人	0人	0人	3,179人	2,083人	(11) ミュージアムツアー-2	0人	0人	0人	44人	0人	(12) 館外展示・出張プログラム等	15,789人	5,298人	3,428人	1,436人	1,063人		令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度	<b>【企画展示】</b>	4事業 10,044人	1事業 5,398人	10事業 96,083人	21事業 133,315人	18事業 115,698人	企画展	4事業 10,044人	-	8事業 93,616人	17事業 127,878人	15事業 110,100人	他団体の展示等	-	1事業 5,398人	2事業 2,467人	4事業 5,437人	3事業 5,598人		令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度	<b>【かわさき市美術展の応募数】</b>	6部門 315点	6部門 373点	6部門 315点	6部門 231点	6部門 266点		令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度	<b>【映画上映】</b>	1事業 155人	-	8事業 3,941人	16事業 9,243人	15事業 11,136人	上映数・作品数	1回 2作品	-	92回 77作品	173回 83作品	174回 96作品		令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度	<b>【教育普及事業】</b>	25講座 191回 13,901人	12講座 72回 7,331人	64講座 218回 21,680人	81講座 277回 11,320人	76講座 254回 10,143人	社会科教育推進事業	126校(13,593人)	64校(7,292人)	47校(4,781人)	85校(9,390人)	88校	ボランティア登録者数	61名	12名	49名	49名
	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度																																																																																																																																																																									
<b>【総利用者数】</b>	15,898人	5,298人	177,284人	302,999人	282,211人																																																																																																																																																																									
(1) 常設展示	0人	0人	54,025人	127,837人	123,249人																																																																																																																																																																									
(2) 企画展示 有料	0人	0人	35,781人	38,635人	49,219人																																																																																																																																																																									
無料	0人	0人	61,316人	89,243人	66,479人																																																																																																																																																																									
(3) 映像展示 有料	0人	0人	3,196人	7,482人	8,909人																																																																																																																																																																									
無料	0人	0人	1,922人	5,054人	4,604人																																																																																																																																																																									
(4) ミネラル	0人	0人	725人	876人	1,255人																																																																																																																																																																									
(5) 館内イベント・講座等	109人	0人	4,726人	14,593人	12,971人																																																																																																																																																																									
(6) ミュージアムツアー(映像)	0人	0人	1,437人	2,802人	3,597人																																																																																																																																																																									
(7) ミュージアムツアー(図書)	0人	0人	10,104人	10,748人	7,693人																																																																																																																																																																									
(8) ミュージアムツアー(閲覧)	0人	0人	19人	32人	27人																																																																																																																																																																									
(9) 研修室等利用者	0人	0人	605人	1,038人	1,062人																																																																																																																																																																									
(10) ミュージアムツアー-1	0人	0人	0人	3,179人	2,083人																																																																																																																																																																									
(11) ミュージアムツアー-2	0人	0人	0人	44人	0人																																																																																																																																																																									
(12) 館外展示・出張プログラム等	15,789人	5,298人	3,428人	1,436人	1,063人																																																																																																																																																																									
	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度																																																																																																																																																																									
<b>【企画展示】</b>	4事業 10,044人	1事業 5,398人	10事業 96,083人	21事業 133,315人	18事業 115,698人																																																																																																																																																																									
企画展	4事業 10,044人	-	8事業 93,616人	17事業 127,878人	15事業 110,100人																																																																																																																																																																									
他団体の展示等	-	1事業 5,398人	2事業 2,467人	4事業 5,437人	3事業 5,598人																																																																																																																																																																									
	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度																																																																																																																																																																									
<b>【かわさき市美術展の応募数】</b>	6部門 315点	6部門 373点	6部門 315点	6部門 231点	6部門 266点																																																																																																																																																																									
	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度																																																																																																																																																																									
<b>【映画上映】</b>	1事業 155人	-	8事業 3,941人	16事業 9,243人	15事業 11,136人																																																																																																																																																																									
上映数・作品数	1回 2作品	-	92回 77作品	173回 83作品	174回 96作品																																																																																																																																																																									
	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度																																																																																																																																																																									
<b>【教育普及事業】</b>	25講座 191回 13,901人	12講座 72回 7,331人	64講座 218回 21,680人	81講座 277回 11,320人	76講座 254回 10,143人																																																																																																																																																																									
社会科教育推進事業	126校(13,593人)	64校(7,292人)	47校(4,781人)	85校(9,390人)	88校																																																																																																																																																																									
ボランティア登録者数	61名	12名	49名	49名	43名																																																																																																																																																																									
収支実績	<p>(1) 収入 483,373千円 (前年：487,124千円) (2) 支出 479,105千円 (前年：474,052千円) (3) 収支差額 4,268千円 (前年：13,072千円)</p>																																																																																																																																																																													
サービス向上の取組	<p><b>【地域との連携】</b> ○市民ミュージアムを含め9つの等々力緑地内施設関係者で構成し、月1回開催する「パルクド・トドロキ会議」(4、5、7月は新型コロナウイルスの影響等により中止)にて各施設で開催する事業の情報共有を行った。また、とどろきアリーナの協力により、「オンラインショップ」の商品の紹介をとどろきアリーナで実施した。なお、毎年等々力緑地で開催される中原区民祭は新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため中止となった。</p> <p><b>【その他】</b> ●「第55回かわさき市美術展」出品料の支払いや、企画展会場での図録等の販売において、新たにクレジット、交通系IC、QRコード(PayPay)によるキャッシュレス決済の運用を開始することで、利用者の利便性向上を図るとともに、新型コロナウイルス対策として「非接触化」による支払いを実施した。 ○地域事業者との関わりを重視し、市内の「社会福祉法人 なごみ福祉会 夢花工房」が制作した商品などをミュージアムショップ(オンライン)で販売した。</p>																																																																																																																																																																													

3. 評価

分類	項目	着眼点	配点	評価段階	評価点
利用者満足度・事業成果	利用者満足度	利用者満足度調査を適切に実施しているか	10	4 (R2: 4)	8
		利用者満足度は向上しているか			
		調査結果の分析を行い、満足度向上のための具体的な取組に反映しているか			
	事業成果	事業実施による成果の測定が適切に行われているか	8	4 (R2: 4)	6.4
当初の事業目的を達成することができたか					
(評価の理由)					
<p><b>【利用者満足度①ー通常分】</b>            ○「第55回かわさき市美術展」、「オンラインショップ」、「社会科教育推進事業」にてアンケート(ウェブ含む)の実施により、参加者等の満足度やニーズ、意見・要望などを把握するとともに、アンケート結果については、事業担当者及び学芸部門長と情報共有を行った。            ○「第55回かわさき市美術展」をミュージアムホール企画展示室で実施したが、40代以上の参加者が2/3以上ということもあり、次回開催の際は、若年層となる中・高校生をターゲットにした新たな広報媒体を検討することとした。また、アンケート(回答数157件)の満足度では、「大変満足」「満足」の割合が98%(昨年度:75%)となった。</p> <p><b>【利用者満足度②ー被災対応分】</b>            ○該当なし</p> <p><b>【事業成果①ー通常分】</b>            ●新型コロナウイルス感染症の拡大により全国的に企画展の中止が相次ぐなか、感染防止対策を実施し、市内の他施設において、「救う未来つなぐ過去 川崎市市民ミュージアム被災後活動報告展」(入場者数4,618人)、「給水開始100年 近代川崎を切り拓いた水道」(入場者数2,207人)、「鉄道操車場物語—新鶴見から塩浜へ—」(入場者数3,219人)といった企画展及び関連イベントとしてセミナー、講演会等を実施するなど、指定管理者ならではの時宜を得た企画や、工夫を凝らした取組、さらに効果的な営業・広報により、他施設での開催にもかかわらず多くの来場者を集客した点が評価できる。            ●1日限定の野外上映会として、等々力緑地内において「川崎市市民ミュージアム出張 タヤげ上映会」(鑑賞者数155名)を開催し、「神奈川ニュース」の中の「川崎市政ニュース映画」と、「実相寺昭雄監督作品 ウルトラマン」を上映し、新型コロナウイルス感染症対策により席数を限定した形で開催となったが、来場者からは好評を得た。            ●市民ミュージアムのホームページ上に展示空間を創出するため、新たに「the 3rd Area of “C” — 3つめのミュージアム —」を開設し、オンラインで「Trail 池田 葉子 / 小山 貢弘」(12月～3月、3,506回)、「漫画の元祖? 明治ボンチ本とはナニモノだ! ?」(12月～3月、5,014回)、「第7回アトリエ指導員展『想起される風景』市野 悠 二井矢 春菜」(2月～3月、1,200回)の3つの展覧会を開催した。被災により館内で展覧会が開催できなくなったこと、更には、コロナ禍による社会変容や、多様化するニーズ等を踏まえ、収蔵品をより多くの市民の皆様へ公開したことは評価できる。            ○新型コロナウイルス感染防止対策を実施し、「第55回かわさき市美術展」を館外で開催し、昨年度より1か月早い募集開始時期及び約2か月短い募集期間にもかかわらず、300点を超える応募作品数があった点は評価できる。</p> <p><b>【事業成果②ー被災対応分】</b>            ●被災収蔵品レスキュー活動として、館内で実施している冷凍保管資料の応急処置の作業は、学芸員、外部支援団体等を含めた作業人員体制を確立し、作業工程についても修復専門家の助言を仰ぎながら改良を重ね、収蔵品の状態や性質に沿って必要な工程を検討のうえ作業を行っていることは評価できる。            ●令和2年度末に導入した真空凍結乾燥機の本格的な運用を7月から開始し、外部支援団体等の助言を仰ぎながら、作業工程を確立し、継続的に乾燥作業を進めていることは評価できる。            ○外部倉庫に搬出した被災収蔵品のうち、修復優先度の高い作品や被災状況を考慮し、市と協議のうえ、修復作品の選定についての助言や著作権者への確認など、市が契約する44件の修復委託についての調査、助言等を適切に行った。            ●外部倉庫に搬出した被災収蔵品を適切に管理するため、倉庫内の温湿度の計測や害虫の調査を行い、専門家と調整のうえ、防虫剤の封入、すのこの設置など、環境対策を施した。</p>					

分類	項目	着眼点	配点	評価段階	評価点	
収支計画・実績	効率的・効果的な支出	計画に基づく適正な支出が行われているか	8	4 (R2: 4)	6.4	
		支出に見合う効果は得られているか				
		効率的な執行等、経費削減の具体的な取組は為されたか				
	収入の確保	計画通りの収入が得られているか	4	4 (R2: 4)	3.2	
		収入増加のための具体的な取組が為されているか				
	適切な金銭管理・会計手続	収入と預かり金等を区別し、適切に管理を行っているか	4	3 (R2: 3)	2.4	
		事業収支に関して適正な会計処理が為されているか				
	(評価の理由)					
	<p><b>【効率的・効果的な支出①ー通常分】</b>  ○令和2年に立ち上げたオンラインショップが好評であり、ミュージアムショップの売上げが予算を大幅に上回った(予算比で1,189千円増)点が評価できる。  ○「救う未来つなぐ過去 川崎市市民ミュージアム被災後活動報告展」等の企画展、「第55回かわさき市美術展」、「オンラインショップ」の広報を行う際に川崎記者クラブへの報道投込による新聞掲載や市内小・中学校へのチラシの配布だけでなく、市政だより、市内広報掲示板・広報コーナー、市ホームページ、かわさきイベントアプリへの掲載等、本市が持つ広報媒体を積極的に活用するとともに、公式ホームページ及びブログの更新や、ツイッターとフェイスブック、インスタグラムなど多様な媒体を活用し、かつ経費がかからないながらも高い効果が見込める広報に努めた。</p>					
	<p><b>【効率的・効果的な支出②ー被災対応分】</b>  ●設備等の不具合事項及びレスキュー作業に要する設備を洗い出し修繕計画表にまとめ、市との定例会議等で協議・検討したうえで、消防設備や空調設備等、緊急度の高い案件の優先的な修繕を実施した。また、ミュージアム前広場に設置していた被災収蔵品の仮保管及び応急処置作業のためのプレハブを撤去したことに伴い、館内に現状の作業内容に適した作業スペースを新たに整備するなど、レスキュー作業の効率的な推進に資する修繕費の執行に努めた。</p>					
<p><b>【収入の確保①ー通常分】</b>  ○ミュージアムショップでは、オンラインショップにて企画展に関連した書籍や過去に開催した企画展図録や紀要、雑貨、市内の「社会福祉法人 なごみ福祉会 夢花工房」が製作した商品等を取り揃え、特に「鉄道操車場物語ー新鶴見から塩浜へー」の図録が好評であったため、予算比1,189千円増となった。  ●文化庁補助金「文化施設の感染拡大予防・活動支援環境整備事業」を活用し、感染拡大予防費として「第55回かわさき市美術展」で使用する消毒液等の購入と、活動支援環境整備事業として「オンライン展覧会」用特設ページのシステム構築を行い、文化庁補助金「文化庁令和2年度第三次補正予算事業「ARTS for the future!」」を活用し、野外上映会「川崎市市民ミュージアム出張 タヤげ上映会」を実施した。当該補助金の申請を行い、採択を受け、収入を確保した点は評価できる。</p>						
<p><b>【収入の確保②ー被災対応分】</b>  ○外部助成団体から市が助成を受けるために、各種助成金の調査及び市が助成金の申請書及び報告書を作成する際の助言を行った。</p>						

分類	項目	着眼点	配点	評価段階	評価点	
サービス向上及び業務改善	適切なサービスの提供	指定管理業務や自主事業が仕様書や事業計画等に基づいて適切に提供されたか	12	4 (R2: 4)	9.6	
		基本理念等に基づき、適切なサービスが提供されたか				
		利用者への情報提供を適時かつ十分に行っているか				
		サービスの利用促進への具体的な取組が為されているか				
	業務改善によるサービス向上	新規及びリピーター確保に向けた付加サービスの取組が為されているか	6	3 (R2: 3)	3.6	
		実施計画と実際のサービス提供に「ずれ」が生じている場合、原因究明に必要な取組が為されているか				
		業務改善が必要な場合に、現状分析、課題把握、改善策の検討と実施が行われているか				
	利用者の意見・要望への対応	業務改善の取組によって具体的な効果があらわれたか	6	3 (R2: 3)	3.6	
		利用者ニーズの把握に努め、それを事業や管理に反映させる取組が為されているか				
		意見・要望の収集方法は適切だったか(十分な意見・要望を集めることができたか)				
			利用者からの苦情や意見に対して、迅速かつ適切に対応しているか			
	(評価の理由)					
<p><b>【適切なサービスの提供①ー通常分】</b>  ○新聞、雑誌、市政だよりへの掲載、公共機関及び学校等へのパンフレットの配布、屋内外への看板設置、交通広告やホームページ・ブログ等、多様な媒体を活用した広報を展開するとともに、SNSにおいては、ツイッターから259回、フェイスブックから208回、インスタグラムから90回の情報発信(企画展、「オンラインショップ」等)を行い、フォロワー数も、それぞれ246名、26名、109名増加した。  ○社会科教育推進事業は、昨年度に引き続き出張授業(46校)、体験グッズ貸出(9校)、ワークブック配布(71校)にて対応した。  ●企画展関連事業として「給水開始100年—近代川崎を切り拓いた水道—」展では、学校や職場、自宅にあると嬉しいと思う蛇口のデザインを募集する「うれしい蛇口コンテスト」を実施し、応募作品481点すべてを展覧会会場で紹介し、うち1点を実際に造形物として製作し展示した。また、「鉄道操車場物語—新鶴見から塩浜へ—」では、川崎の鉄道操車場の今昔を解説する史跡めぐり(オンラインで配信し閲覧数は3,387回)と、川崎の貨物鉄道の過去と現在についての講演会を実施(対面で実施し29名が参加)した。  ●博物館プログラムとして、二ヶ領用水と大山街道をめぐる史跡めぐり(対面)を実施した。新型コロナウイルス感染症対策のため、少人数で2日に分け、イヤホンガイドなどを活用してプログラムを実施(参加者は計18名)した。</p>						
<p><b>【適切なサービスの提供②ー被災対応分】</b>  ○外部支援団体の支援者等が来館した際、事前に館の現況や用意している装備品の内容、館で実施しているカビや感染症対策を把握できるように、令和元年度に作成した「川崎市市民ミュージアム被災収蔵品レスキュー作業に係る連絡事項(全部門共通)」を専門家等と調整しながら随時更新し配布した。</p>						
<p><b>【業務改善によるサービス向上①ー通常分】</b>  ●被災により館内で展覧会が開催できなくなったこと、更には、コロナ禍による社会変容や、多様化するニーズ等を踏まえ、収蔵品をより多くの市民の皆様へ御覧頂くため、市民ミュージアムのホームページ上に展示空間を創出し、新たに「the 3rd Area of “C”—3つめのミュージアム—」を開設し3つの展覧会を開催した。</p>						
<p><b>【業務改善によるサービス向上②ー被災対応分】</b>  ●作業場所に応じて適切な環境を構築し、外部支援団体等の作業者の安全性の向上を図るため、昨年度同様、定期的な浮遊菌の調査と殺カビ処置を実施し、レスキュー作業場所の作業環境が大幅に改善されたため、専門家等のアドバイスを踏まえて、防護服、長靴等の着用を不要とし、作業エプロン等の軽装備へ変更するといった見直しを実施したことは評価できる。</p>						
<p><b>【利用者の意見・要望への対応①ー通常分】</b>  ○企画展、「第55回かわさき市美術展」、オンラインショップ、社会科教育推進事業にてアンケート(ウェブ含む)等を実施することにより、参加者等の満足度やニーズ、意見・要望などを把握している。アンケート等の結果に関しては担当者及び部門長で情報共有を行った。オンラインショップに関しては、企画展「鉄道操車場物語—新鶴見から塩浜へ—」の開催時に作成した展覧会図録が完売し、再販の要望が多数寄せられたため、増刷を行った。また、社会科教育推進事業では、「コロナ禍で外部講師との対面授業ができない」という意見が寄せられたため、オンラインによるリモート授業を実施した。</p>						
<p><b>【利用者の意見・要望への対応②ー被災対応分】</b>  ●外部支援団体の専門家から、レスキュー作業場所の環境や、作業者の装備、熱中症対策などについて助言を頂き、作業条件、施設、設備などの安全衛生上の改善を実施した。</p>						

分類	着眼点	配点	評価段階	評価点
組織管理体制	適正な人員配置	6	3 (R2: 3)	3.6
	連絡・連携体制			
	再委託管理			
	担当者のスキルアップ	2	3 (R2: 3)	1.2
	安全・安心への取組	4	3 (R2: 3)	2.4
	コンプライアンス			
	職員の労働条件・労働環境	4	3 (R2: 3)	2.4
	環境負荷の軽減	2	2 (R2: 2)	0.8
(評価の理由)				
<p><b>【適正な人員配置】</b>  ○応急処置、修復などのレスキュー作業の進捗状況に合わせ、博物館及び修復に関する専門知識を有する職員の新規採用により、人員体制を確保し、的確にレスキュー作業に対応した。  ○8月、9月の緊急事態宣言下においては、職員の一部において在宅勤務を実施するなど、労働条件や労働環境を整備し、安定的な運営につながるよう効果的な組織体制の構築を図った。</p> <p><b>【連絡・連携体制】</b>  ○現地対策本部会議を毎週2回開催し、レスキュー作業の進捗や課題等について所管課と調整を行うなど、被災収蔵品レスキューの取り組みに関する連絡・連携体制が十分に図られている。</p> <p><b>【担当者のスキルアップ】</b>  ○「被災資料の真空凍結乾燥講習会」、「古文書修復ワークショップ」等の研修会を開催し、収蔵品レスキューが効率的に進められるように知識及び技術の習得に努め、レスキュー作業に係る学芸員のスキルアップに取り組んだ。</p> <p><b>【安心への取組】</b>  ○風水害マニュアルの策定を行い、マニュアルに基づく状況付与・情報収集伝達訓練を5月から11月にかけて、毎月1回実施した。また、土のうの設置訓練を5月から12月にかけて13回実施し、等々力緑地浸水対策実施訓練(6月)に参加した。</p> <p><b>【環境負荷の軽減】</b>  ○令和2年度に続き、館内のLED化など被災後はレスキュー作業を優先するため、環境に配慮した取り組みを積極的に実施できなかった。また、バックヤードや職員専用の階段等のこまめな消灯、平日のエスカレーターの停止等、消費電力の低減と環境負荷の低減を図るとともに、PPCにはエコ紙を採用し消耗品の調達にはエコ商品を優先した。</p>				



分類	項目	着眼点	配点	評価段階	評価点
適正な業務実施	施設・設備の保守管理	安全な利用に支障をきたすことのないよう、施設・設備の保守点検や整備等を適切に実施しているか	18	4 (R2: 4)	14.4
	管理記録の整備・保管	業務日誌・点検記録・修繕履歴等が適切に整備・保管されているか			
	清掃業務	施設内及び外構の清掃が適切に行われ、清潔な美観と快適に利用できる環境を維持しているか			
	警備業務	施設内及び敷地内の警備が適切に行われ、事件・事故・犯罪等の未然防止に役立っているか			
	外構・植栽管理	外構の植栽を適切に管理(草刈、剪定、害虫駆除等)しているか			
	備品管理	設備・備品の整備や整頓、利用者が使用する消耗品等の補充が適切に行われているか			
	収蔵品管理	収蔵品は仕様書等に基づき、適切に保存・管理されているか	6	3 (R2: 3)	3.6
(評価の理由)					
<p><b>【施設・設備の保守管理】</b>  ○設備等の不具合事項及びレスキュー作業に要する設備を洗い出し修繕計画表にまとめ、市との定例会議等で協議・検討したうえで、消防設備や空調設備等、緊急度の高い案件の優先的な修繕及びミュージアム前広場のプレハブの撤去に伴う館内の作業スペースの拡充を行い、レスキュー作業の効率的な推進に資する修繕費の執行に努めた。</p> <p><b>【清掃業務】</b>  ○日常清掃、定期清掃及び除カビ、防カビ対策により清潔な美観と快適な環境を維持している。</p> <p><b>【警備業務】</b>  ○常駐警備(24時間×1ポスト、日勤×1ポスト)、機械警備、巡回警備を適切に実施し、事件・事故・犯罪等を未然に防止できている。</p> <p><b>【収蔵品管理—被災後】</b>  ○既存台帳のデータベース化について、台帳への登録を完了した。収蔵庫から出庫した収蔵品の確認を行うため出庫管理表を作成し、収蔵庫からの搬出・応急処置を実施した。応急処置が完了した収蔵品については、外部倉庫に搬出し、定期的に収蔵品の状態確認を行うなど適切に管理を行った。</p>					

#### 4. その他加点

分類	項目	着眼点	配点	評価段階	評価点
その他加点	市の政策課題への取組	例) 第三者へ一部の業務委託を行う際、市内中小企業者の受注機会の確保・拡大 地域包括ケアシステムの構築に向けた取組への協力 など	5	3 (R2: 3)	3
	(評価の理由)				
<p><b>【通常分】</b>  ○清掃業務、警備業務などの施設管理業務において市内中小企業を活用している。</p> <p><b>【被災対応分】</b>  ○令和元年東日本台風による想定外の内水氾濫により地下収蔵庫が浸水し、施設及び収蔵品に甚大な被害が発生したが、指定管理業務については市と覚書及び変更覚書を締結し、収蔵品レスキューを最優先で取組むこととした。これにより、令和2年度に引き続き、施設復旧作業、被災収蔵品の応急処置等の収蔵品レスキュー作業を実施した。</p>					

5. 総合評価

評価点合計	74.6	評価ランク	B
-------	------	-------	---

R2: 74.6)

(R1: B)

6. 事業執行(管理運営)に対する全体的な評価

川崎市市民ミュージアムは、「考古、歴史、民俗、美術、映像等に関する資料及び作品について収集、展示、調査研究等を行うこと等により、市民の観覧、学習、研究等に資するとともに市民相互の交流を推進し、もって市民の教育、学術及び文化の発展に寄与する」ことを目的として設置した博物館・美術館の複合施設である。

本施設は、昭和63年11月に開館し、平成29年度に市の直営管理から施設管理・学芸業務ともに指定管理者制度を導入した。

指定管理者を募集するにあたり、本市が仕様書で「指定管理者に求めること」として、①「民間事業者としての柔軟な発想及び獨創性、さらにはこれまで蓄積してきた研究成果を引き継ぎ、サービスの向上や魅力ある企画の実現など、事業の充実と新たな来館者の創出に向けて創意工夫するとともに効率的な運営に努めること」、②「指定管理者には優れたマネジメント力、博物館・美術館の専門分野に関する豊かな知識と高度の専門性の継続と蓄積」、③市文化施設の管理運営にあたる者として、特定の利益や価値に左右されない、高い公益性と信頼性」の3点を示していることに加え、④被災後に締結した覚書において「市と十分に調整を図りながら収蔵品レスキューに最優先で取り組むこと」としていることから、全体評価に当たってはこれら4点の視点に基づき評価する。

①新型コロナウイルス感染症の拡大により全国的に企画展の中止が相次ぐなか、感染防止対策を実施し、市内の他施設において、「給水開始100年—近代川崎を切り拓いた水道—」、「鉄道操車場物語—新鶴見から塩浜へ—」、「第55回かわさき市美術展」といった企画展及び関連イベントとしてセミナー、講演会等を実施した点は評価できる

②被災後のレスキュー活動で蓄積した経験や外部支援団体から得られた知見などを記録として残すとともに、多くの方に市民ミュージアムの被災後の状況を知って頂くため、「救う未来つなぐ過去 川崎市市民ミュージアム被災後活動報告展」を開催した。また、美術館・博物館の被災とレスキューの記録として、ホームページ上で情報発信を行った。

③市民ミュージアムのホームページ上に展示空間を創出し、新たに「the 3rd Area of “C” —3つめのミュージアム—」を開設するなど、市民ミュージアムの被災やコロナ禍の状況等を踏まえたオンラインでの取組については、指定管理者の創意工夫が発揮されている。

④さらに、施設復旧・レスキュー作業については、市や外部支援団体等と調整しながらレスキュー作業に必要な設備等を復旧させ、被災収蔵品の応急処置の作業工程についても修復専門家の助言を仰ぎながら改良を重ね、効率的に作業を進めた。また、外部倉庫に搬出した被災収蔵品について、優先度の高い作品や被災状況を考慮し、市が契約する被災収蔵品の修復委託に係る助言等を行ったことで、収蔵品レスキューがスムーズに実施された。

以上のことから、令和3年度は適正に指定管理業務が実施されたものとする。

7. 来年度の事業執行(管理運営)に対する指導事項等

令和4年度から、市民ミュージアムは直営施設となるため、指導事項等は特になし。